

# 上の川遊歩道延伸基盤予備設計等業務における設計業務 特記仕様書

## 1 業務目的

上の川周辺整備事業は、阪急千里線豊津駅から蓮華寺橋付近までの約 300m 区間を対象として、上の川の暗渠化により創出される上部空間を活用し、遊歩道及び府道吹田箕面線の道路空間の再配置による安全対策を実施しており、現在、河川を暗渠化する基盤整備工事が概成し、上面整備を進めており、令和7年度の完成を目指している。(以下、「下流区間」という。)

本業務は、道路交通上の安全確保等の地域の課題解決をさらに進めていくため、蓮華寺橋付近から上流の花壇踏切道までの約 350m 区間(以下、「上流区間」という。)を対象に、遊歩道の延伸及び府道の道路空間の再配置による安全対策並びに、大学踏切道の交差点改良等の検討を行い、それらを実現するために必要な空間を確保する手法として上の川の改築等を検討するものである。

## 2 留意事項

本業務の遂行にあたっては、下流区間の過年度成果(予備設計、詳細設計等)及び令和 5 年度上の川遊歩道延伸検討業務を十分に把握した上で、多角的な視点で検討すること。また、関係機関との円滑な協議が重要となるため、検討の熟度を高めるとともに、分かりやすい資料作成に努めること。

## 3 業務内容

### 3.1 検討対象施設(管理者)及び目的

- ・市道 新設遊歩道(吹田市) : 高質空間としての遊歩道の新設
- ・市道 千里山東山手線(吹田市): 大学踏切道部における交差点改良と踏切拡幅
- ・一般府道 吹田箕面線(大阪府): 車道と歩道の安全対策(道路空間の再配置)
- ・一級河川 上の川(大阪府) : 暗渠化による上部空間の創出

### 3.2 河川予備設計(河川改築予備設計)

#### (1)設計計画

業務の目的・主旨を把握し、設計図書に示す業務内容を確認して業務計画書を作成し、提出する

#### (2)現地踏査

- ア 現地踏査にて現況施設や河川の状況、地形、地質、近接構造物及び土地利用状況・河川の利用形態、道路占用物・地下埋設物等を把握し、併せて施工重機配置、仮排水路、施工ヤード等の施工の観点から現地状況を把握し、整理する。
- イ 構造物主要寸法等の確認も行い、必要に応じて簡易測量・計測等を実施する。
- ウ 架空線等上空施設についても確認を行い、必要に応じて平面図に反映する。

#### (3)設計条件の整理

- ア 道路交通上の安全確保等に必要な空間を確保するための河川改築手法を、既往成果を参考に複数案検討し、最適な手法を選定する。この際、下流区間における河川構造としての暗渠構造の設計条件、設定根拠、施工時の課題等を整理するとともに、河川改築によって新たに生じる治水上のリスクを検討し、

与条件の整理を行う。

検討する河川改築手法は、鋼矢板等による垂直護岸、函渠構造による暗渠等を想定している。

- イ 河川改築手法は、道路交通上の安全確保等に必要な道路横断構成及び下流区間の採用構造を踏まえて、構造を選定する。
- ウ 河川改築による河川管理上の課題を整理し、維持管理に必要な設備や施設の管理手法等の河川管理の対応方法を検討する。また、構造の特性を踏まえた上で、改築によって新たに生じる河川管理上のリスクやその対策について検討する。

#### (4)河川改築の平面縦断計画

- ア 並走する府道及び阪急電鉄への影響に配慮するとともに、上下流の河床高を踏まえて、平面線形及び縦断形を検討する。縦断計画にあたっては、現況河道内に落差工が複数あることに留意する。
- イ 対象区間上流端である花壇踏切道は、函渠構造による橋梁拡幅工事を完了している。桁下余裕高に留意した縦断形及び落差処理の対策等を検討する。

#### (5)横断計画

- ア 計画高水流量等の流量条件や水理検討条件を整理した上で、水理計算手法を選定し、河川改築横断形(断面形)を設定する。
- イ 設定の際、土被りの確保や現道と阪急電鉄軌道敷との高低差に留意するとともに、後段で検討する施工方法も加味した上で、最適な改築断面を検討し、高低差の処理方法や上下流との取付構造を検討する。

#### (6)施工方法の検討

- ア 下流区間の施工方法は、オープンシールド工法による河川暗渠化を採用しており、蓮華寺橋下流付近にシールド機を残置する計画である。上流区間は、一般的な開削工法など下流区間の採用工法以外も踏まえて、施工方法を検討する。
- イ 施工方法の選定にあたり、下流区間で採用したオープンシールド工法については、ヒアリング等により、安全性等の施工上の課題を整理した上で、安全性等の工法の妥当性検証を行う。
- ウ 蓮華寺橋下流直下には、NTT管路が河川を横断しており、暗渠化に支障となることから、NTT管路の移設などの必要性や方法について検討し、管理者への協議資料等の作成を行う。また、NTT 管路を移設しない場合の河川構造物と NTT 管路との近接施行につて検討する。
- エ 河川改築の施工方法における、阪急電鉄への影響について概略検討を行う。
- オ 右岸側に建てられた電柱の移設(府道の右側若しくは左側等)先について検討する。
- カ 施工中の一時的な出水への対応を検討するほか、出水期などの工事休止期間における出水への対応についても検討する。
- キ 施工のために必要な府道の道路規制案を検討する。
- ク 阪急電鉄軌道への影響を想定した計測管理等を検討し、阪急電鉄との協議を行う。
- ケ 概算事業費を算出する。

#### (7)その他の検討

蓮華寺橋の上下流部については、既設暗渠と新設構造物との接続が必要となるため、暗渠化の検討を行うこと。

### 3.3 遊歩道及び府道の概略設計(道路概略設計)

#### (1)概略設計

- ア 測量成果等に基づき、平面縦断線形を検討し、道路横断構成等の横断計画の検討を行う。
- イ 検討にあたっては、遊歩道の連続性やネットワークに配慮する。交差点は府道も併せて検討するが、標準部は遊歩道整備だけのパターンと府道改良も併せて行うパターンを検討する。
- ウ 沿道及び接続する市道との取り合いに留意するとともに、排水施設の概略検討を行う。

#### (2)交差点改良検討

- ア 大学踏切道の交差点(丁字路)における道路交通の課題解決に向けて、歩行者の安全確保及び渋滞緩和等の交通環境の改善を図ることを目的に、交差点の改良検討を行う。ただし、踏切を拡幅する具体的な検討本業務の対象外とする。
- イ 花壇踏切道の交差点は、交通環境改善等の交差点改良の必要性を検討する。また、道路空間の再配分に伴う交差点形状を検討する。

### 3.4 河川・道路設計共通事項

#### (1)河川・道路の縦断計画

- ア 河川・道路双方の計画が両立する縦断計画になるよう検討すること。また、排水施設や横断防止柵等の道路付属構造物と河川施設が分離した構造となるよう検討する。
- イ 河川改築で土被りが発生する場合は、下流区間と一連区間であることから統一化を図るように検討すること。

### 3.5 関係機関協議資料作成

本業務を円滑に進めるにあたり下記の管理者との協議が必要となるため、協議資料の作成を行う。

河川・道路管理者・・・大阪府茨木土木事務所

地下埋設物管理者・・・NTT、関電、ガス、水道、下水等

鉄道管理者・・・・・・阪急電鉄

## 4 成果品

成果品は、印刷製本した冊子(パイプファイル綴じ)を 2 部提出すること。あわせて電子データも提出すること。なお、図面データは AutoCAD 及び PDF 両方の形式で納品すること。

詳細については、調査職員と協議のうえ決定するものとする。

## 5 貸与資料

本業務を遂行するにあたり、下記の既存成果を貸与する。

H29 一級河川上の川護岸検討委託(H29)

H30 一級河川上の川予備設計委託成果

R1 一級河川上の川詳細設計委託成果

R2千里山東山手円山1号線橋梁改良詳細設計業務

R4上の川上面整備(府道吹田箕面線)詳細設計業務

R5 上の川上面整備施工計画検討ほか修正設計等業務

R5 上の川遊歩道延伸検討業務

計画高水流量等の流下能力検討条件

測量成果…上の川中心線平面図、縦断図、横断図

地下埋設資料